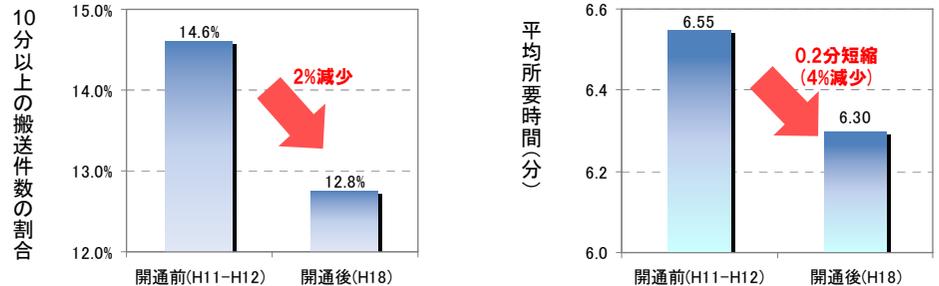


バイパス整備により 救急医療体制が充実

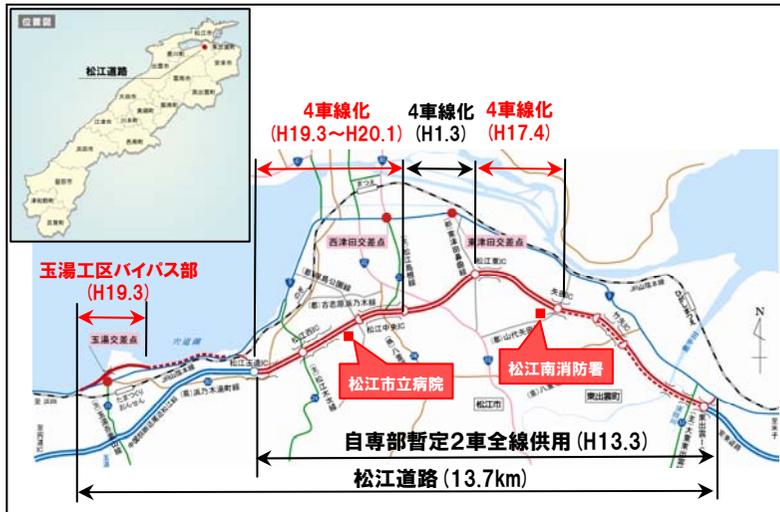
- ・松江市は、山陰道「松江道路」沿線に消防署を配置(H9)、また松江市立病院も移転(H17)。近年の4車線化整備により救急医療体制が更に充実。
- ・山陰道「松江道路」整備後(H13以降)、松江市立病院への搬送時間も大幅に短縮。

松江消防本部の覚知から現場到着まで10分以上要した搬送件数割合及び平均所要時間



※開通前:H11~H12の平均、開通後:H13~H18の平均
 ※カラーの救命曲線によると、心臓停止後10分で死亡率が100%に達する。それ以下だと生存率が高まることより10分を基準に集計。

※開通前:H11~H12の平均、開通後:H13~H18の平均
 (出典:松江市消防本部より)



●松江市立病院への搬送所要時間の変化



●消防関係者の声

・松江道路の4車線化により、追い越しが出来るようになったため、走行性が高まり、迅速な救急活動につながっている。

(H20.4 松江市消防本部ヒアリング)



※松江道路は4車線化前は60km/h、4車線化後は70km/h
 その他はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出